

第6期 YDEC ケーススタディ参加希望者募集のご案内

YDEC メンバー各位

一般社団法人 日本ダイカスト協会
YDEC 運営部会長 佐藤 初雄

ごあいさつ

YDEC は、ダイカスト及びそれに関連する業務に携わる若手エンジニアの技術的知識の習得と、問題解決スキルの向上を目的として、下表のようにこれまで5回に渡る不良対策のケーススタディを開催しております。現場現物の確認と分析の重要性、現象と理論の結びつきの見える化、真因に対する対策効果の有効性など、第1期～第5期の活動では活発な討議を通じてこれらの手法を学ぶことができ、ケーススタディ参加者には大変好評でした。これまでのケーススタディ活動成果と反省点を踏まえ、第6期も行うことになりました。ここに YDEC 会員の中から参加希望者メンバーを募りたいと思います。

YDEC 運営部会では、更にレベルアップするための改善を織り込みながら不良対策のケーススタディを運営していきたいと思っておりますので、奮ってご参加ください。

(参考)

	活動期間	テーマ		
第1期	2007年4月～2008年4月	① 鑄巣	② 製品の歪・曲り	—
第2期	2009年1月～2010年2月	① 鑄巣	② 流動不良	—
第3期	2010年12月～2012年2月	① 気密不良	② 流動不良	③ 焼付き不良
第4期	2013年4月～2014年6月	① 気密不良	② 流動不良	
第5期	2016年4月～2017年3月	鑄巣、気密不良、欠け込み等3グループ		

1. 目的

ケーススタディでは、具体的な事例を題材にしたディスカッションを通じて、技術的アプローチ、技術知識を勉強することを目的としています。

このディスカッションを通じて、ダイカストにおける問題点(現象)と科学的理論との論理的な結びつきを明確にしていくための手法を学ぶと共に、メンバーの技術レベルの向上を図っていきます。またメンバー相互の自主的な活動を主体としており、ケーススタディ終了後もメンバー各自がそれぞれの業務に活かせることも目的としています。

2. 今回のテーマ

今回も前回の第5期と同様、募集のためのテーマは、決めません。テーマは、参加者が解決したい不良(欠陥)が個々のテーマとなります。日頃、気になっている不良製品があることが前提となります。

3. 進め方概略

- 1) 各自が不良の製品や事例(できるだけ詳しく)を持ち寄り、それぞれに対してケーススタディを進めていきます。製品は鑄造品そのものが望ましいのですが、顧客秘匿義務などで困難な場合、議論に際して最小限必要な部分のみでも可とします。
- 2) メンバーを4名前後に仮のグループ分けをして、各自の製品を分析して原因ごとに分類します。グループ内で、共通のなぜなぜ分析が使えるように配慮し、正式のグループ分けを行います。参加者が

持ち寄った不良製品について、各自でその不良をもとに科学的手法を習得しながらケーススタディを進めていきます。また、進めるにあたり各自の課題(宿題)を次の会合までに必ずやってきて頂きます。

- 3) 原則としてミーティング形式で行います。より積極的かつ緻密なコミュニケーションを行うことが目的です。ただし、開催通知や宿題内容の進捗等の確認は、各回ごとにメールで行います。
- 4) ミーティングは、10回を計画しています。なるべくYDECの講座が開催されるときにミーティングを開催する予定です。活動期間は、12ヶ月を予定しています。
- 5) 活動期間中、メンバーは固定させていただきます。途中参加は認めておりません。同一の社内でのメンバー交代は認めておりますが、両者間での十分な引継ぎが行われることを条件とします。
- 6) キックオフ、活動報告会については、メンバーの上司1名に限り、参加を認めます。

4. 日程案

現時点での具体的なスケジュールとして、下表のような案を考えております。種々の要因により遅れることもあります。また、各グループ内で必要と認められた場合には、別途ミーティングなどを行うこともあります。

	年/月	項目	内容
第1回	2019/4	顔合わせ、QC手法の習得	機械振興会館：講演会・実習(手書き)パレート図、なぜなぜ分析
第2回	2019/5	分析・検証	上野分析室：製品の切断研磨を行い、顕微鏡等でマクロ・ミクロ観察
第3回	2019/6	なぜなぜの習得	機械振興会館：事例を使った「铸件・湯回り不良なぜなぜ」講義とグループ討議・発表
第4回	2019/7	仮説を立てる	機械振興会館：分析室での結果を元になぜなぜ仮説を立てる
第5回	2019/8	対策、立案	機械振興会館：対策案の検討
第6回	2019/9	中間発表	研修(合宿)：中間発表、工場見学
第7回	2019/10	(1)不良対策・実施	機械振興会館：各自で対策・実施結果の報告・討議
第8回	2019/12	(2)不良対策・実施	機械振興会館：対策・実施の報告・討議
第9回	2020/2	まとめ	
第10回	2020/3	ケーススタディ活動報告	最終的なケーススタディの活動報告会

5. 参加資格

- ・ パソコン(パワーポイント、エクセル、ワード)を使って、メールの送受信が出来る人
- ・ ダイカストの基礎的な知識を有している人でダイカストの実務経験が1年以上あり、現在困っている不良や問題点を必ず撲滅したい、という熱意のある人。
- ・ 1年間参加できる人

6. 参加費

- ・ 20,000円
- YDEC 研修会(合宿)やYDEC 講演会・懇談会への参加は、別途費用が発生します。

7. その他

- ・ 上記のような形態での運用であるため、応募人員数によっては、お断りする場合がございます。
- ・ キックオフおよび会合については東京で開催します。他のYDECの講座にあわせて開催する場合は、その開催地で開催することとします。

参加申込締切 2019/3/13(水)

お問い合わせ先: 協会事務局 浅田 TEL 03-3434-1885 asada@diecasting.or.jp

第6期ケーススタディ参加申込書

この度は、ケーススタディ参加希望者3グループ12名（1社2名以内）の募集をいたします。不良内容がグループ内で重複しないようにグループ編成を行い、キックオフ（2019年4月）の開催にてケーススタディがスタートします。なお、参加希望者は、下記の質問項目に回答し、3月13日（水）までにメールにて事務局に返信していただくよう、お願いいたします。グループ編成後、参加の可否を連絡しますのでご連絡後参加費をお振込み下さい。

名前			
会社名			
部署名			
メールアドレス(個人)			
ダイカスト実務経験年数	年	QC活動経験年数	年

・ケーススタディを行うに当たり、不良の製品と現在お持ちのデータなどを書ける範囲で具体的に
お書きください。

例1) 不良内容：加工面の巣
①製品名②不良率③X線写真④発生部位の写真⑤客先スペックなど

例2) 不良内容：未充填不良
①エンジンブロック②不良率10%③写真1～5④ボス部湯回り不良
⑤強度、歪み、漏れ等あり(具体的数値・・・・。)